

平成30年度入学者選抜に関して

1. アドミッションポリシー（求める生徒像）

平成28年度より、総合点（学力検査の成績等＋調査書中の評定）等とともに、アドミッションポリシーに基づいて、受験生の合否判定をします。ボーダーゾーン内の生徒のうち、自己申告書及び調査書の「活動／行動の記録」の記載内容により、本校のアドミッションポリシーに極めて合致する者を総合点の順位に関わらず優先的に合格とします。

夕陽丘高校アドミッションポリシー

本校は、明治39年（1906年）に設立された伝統ある学校で、豊かな情操と気品ある人格を育み、これからの社会を支える健全な精神を持つ若者の育成をめざしています。高校生活を将来の夢実現の土台と考え、人とのつながりを大切にし、協調性を持って学びながら常に向上心を忘れず、自分を高めようとする生徒を望みます。

- 1) 将来の進路希望の実現へ向け、高い目標を持ち、学業に真摯に取り組む生徒
- 2) 中学校において学級活動、学校行事、部活動等にも積極的に参加し、入学後も継続し活動の意志を持ち、自ら考え行動できる自主自律の精神を高めようとする生徒
- 3) 国際交流に興味を持ち、その手段としての英語技能習得に積極的に取り組んでいる生徒
- 4) 音楽の専門家への道を希望し、その専門的技能を磨き成果を上げ、入学後も本校の音楽教育全般及び音楽以外の学業にも努力する生徒（音楽科志望者）

2. 学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

（普通科＝一般入学者選抜）

○倍率のタイプ／Ⅰ（学力検査と調査書の割合 ＝ 7 : 3）

→総合点（900点）＝学力検査（5教科×90点×1.4倍＝630点）

＋調査書（3年×6倍＋1年×2倍＋2年×2倍）×0.6倍＝270点）

○学力検査問題の種類 / 国語（C）・数学（B）・英語（C）

B＝標準的問題 C＝発展的問題

（音楽科＝特別入学者選抜）

○倍率のタイプ／Ⅱ（学力検査と調査書の割合 ＝ 6 : 4）

→総合点（600点）＝学力検査（5教科×45点×1.2倍＝270点）

＋調査書（3年×3倍＋1年×1倍＋2年×1倍）×0.8倍＝180点）

＋実技検査（専攻実技・視唱・聴音＝150点）

○学力検査問題の種類 / 国語（B）・数学（B）・英語（B）

B＝標準的問題

〔普通科〕

国語 (C) (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。
数学 (B) (標準的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。
英語 (C) (発展的問題)	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出題する。

〔音楽科〕

国語 (B) (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。
数学 (B) (標準的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。
英語 (B) (標準的問題)	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出題する。

3. 入学者選抜の主な日程

選抜の種類	出願	学力・実技検査	合格者発表
特別入学者選抜 (音楽科)	平成30年 2月6日(火) 7日(水)	実技検査 平成30年 2月18日(日) 学力検査 平成30年 2月20日(火)	平成30年 2月28日(水)
一般入学者選抜 (普通科)	平成30年 3月2日(金) 5日(月) 6日(火)	学力検査 平成30年 3月12日(月)	平成30年 3月20日(火)